

令和7年度

市民向け「自治会活動に関するアンケート」
分析結果（報告）

日光市地域振興課
日光市自治会連合会

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

1. 目的

市と自治会連合会が連携して、「自治会活動の現状や課題」や「自治会に対する市民の皆さまの意識」を把握し、今後の地域コミュニティづくりや自治会運営に活かすため、市民アンケート調査を実施

2. 目標

集計目標値を **1,200件** に設定

→全国的な市民アンケートの標準的母数比=人口の1~2%、世帯数の3%

日光市の人口(74,184人)の約1.6%。世帯数(36,544世帯)の約3.3%

昨年度、市総合政策課にて実施した市民アンケートでは市内一般1,126件の回答実績あり。

3. 実施概要

対象：市民(自治会加入・未加入を問わず)

期間：令和8年1月16日から2月28日

回答方法：ロゴフォームによるWEB回答を基本とし、市やセンターでは用紙も受付

周知方法：全自治会長へ通知、市HP・市広報紙掲載、市公式LINE配信、外郭団体等へ周知、公共施設及び商業施設等80か所以上に掲示協力依頼

回答件数：1,230件(1日平均28件回答)

※紙媒体による提出151件 うち無効票：18件(一部未回答・期限超過等)

市民向け「自治会活動に関するアンケート」 分析結果（回答概要）

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

4. 回答概要（その1）

- 目標を超える1,230件の回答があり、市民の関心の高さがうかがえる結果となった。
- 世帯主からの回答が約7割を占める。
- 回答者の年代は50代以上が全体の76%と、中高年層が中心。
- 市内全域・様々な年代から回答あり。最多は日光地域の381件(全体の31%)
- 自治会加入者の回答が94%を占めていたが、未加入者等の回答80件は貴重。
- 加入者の理由は「長年加入している」が67%、「災害時等の協力関係に期待する声」も32%
- 未加入者・脱退者の理由については、“負担”と“納得度不足”が最大の壁。
- 市民も「役員高齢化や担い手不足は深刻」と約8割強が認識している。

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

5. 回答概要（その2）

- 会費への印象は「妥当」が5割超ありながらも「高い」と感じる人も3割あり。
- 「高いと感じる」回答の多くが「使途不明」を理由としており「財政透明化」や「説明責任強化」必要
- できれば役員をやりたくないと思ったのは約6割だが、約4割は条件次第で役員登用可。
- イベントや行事に関する「負担感」については、現役世代・子育て世代の配慮も必要。
- 自治会役員の「若者登用」に肯定的な回答(63%)と「女性登用」に肯定的な回答(80%)
- DX化(デジタル化)やデジタルツール導入について、7割以上の方が必要性を感じている。
- デジタルツール(「電子回覧板」と「連絡アプリ」)の導入を望む声(380件)も多く抵抗感少ない印象。
- デジタル化推進の一方で「高齢者にも配慮した運用」も必要という声も存在。

市民向け「自治会活動に関するアンケート」 分析結果（詳細）

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

①回答状況および回答者属性について

回答総数：1,230件（目標件数達成）

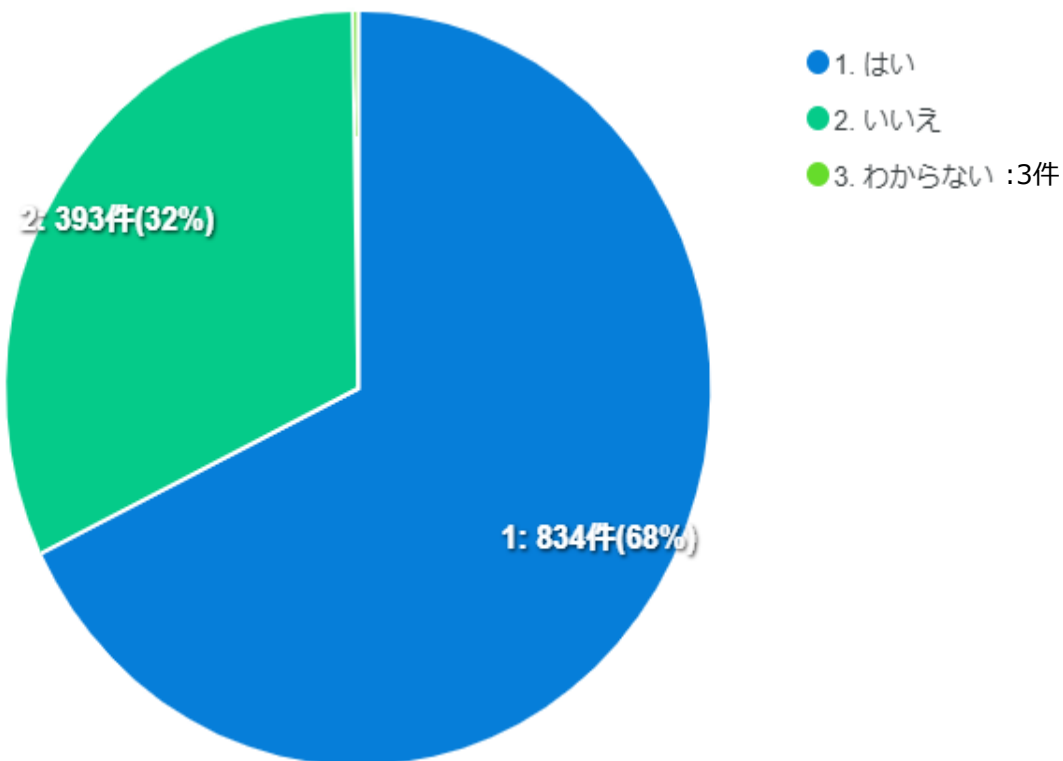
世帯主からの意見：834件(68%)

▼60代(338件)・70代(317件)の回答が半数を占める

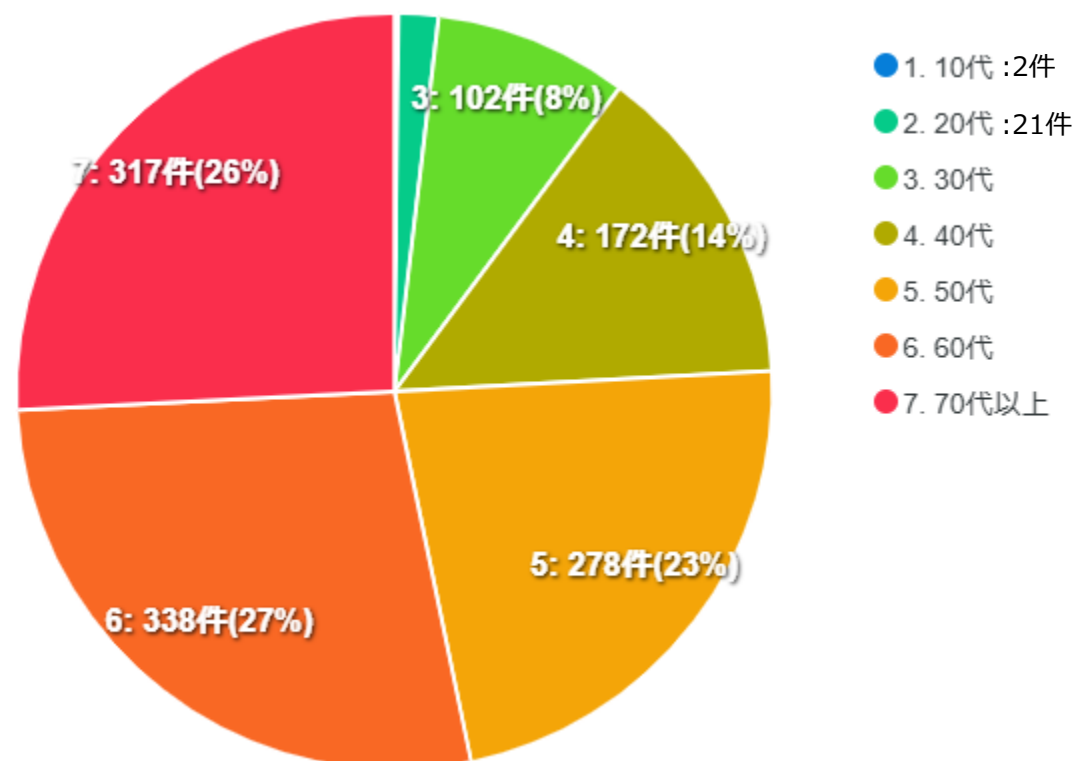
▼10代~40代の回答は、全体の4分の1（24%）

回答者年代：50代以上の回答が多数(76%)

▼あなたは世帯主ですか？▼



▼あなたの年代を教えてください。▼



「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

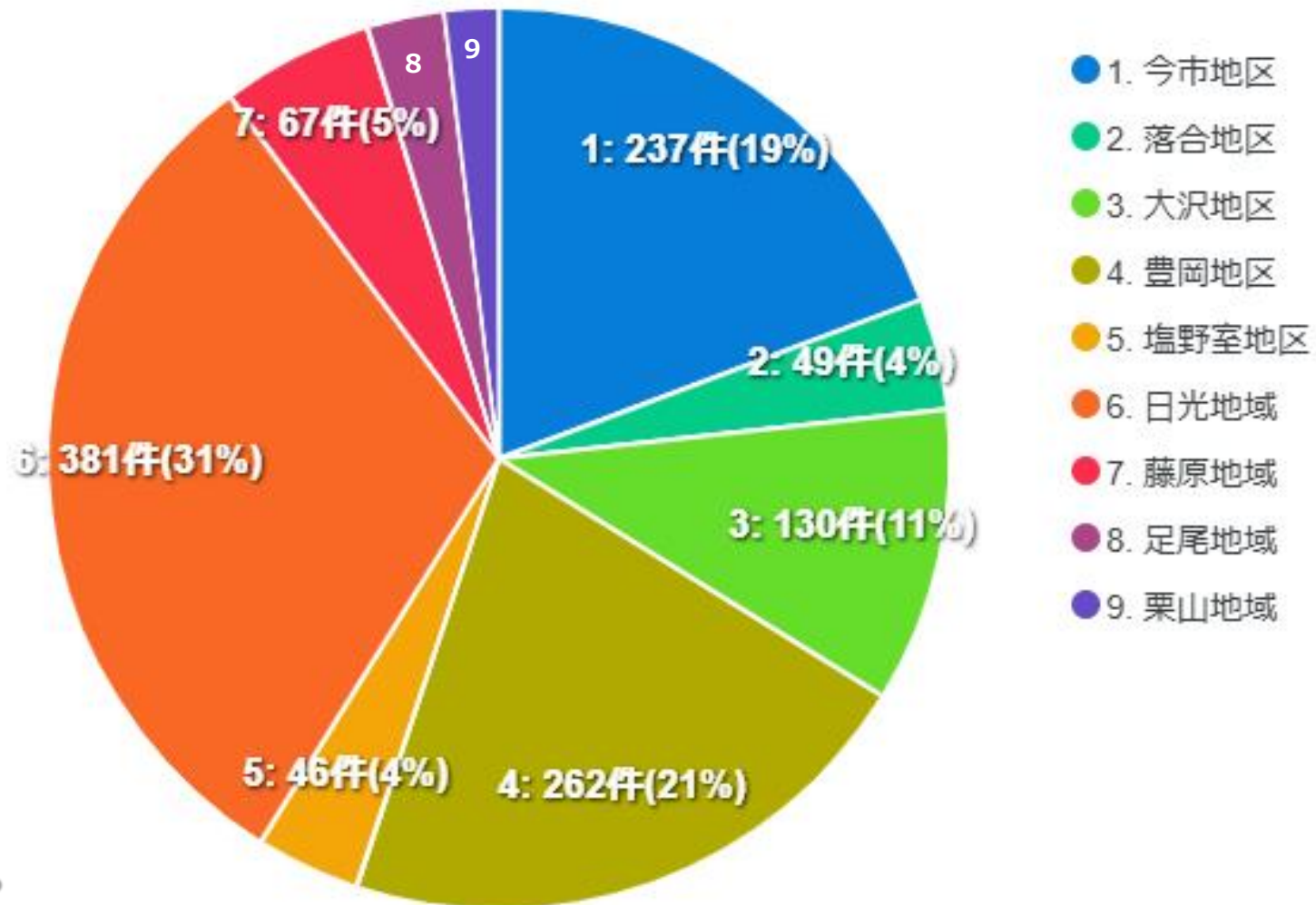
②回答者の居住地について

- 今市地域: 724件(59%)
 - ・今市地区(237件:19%)
 - ・落合地区(49件:4%)
 - ・豊岡地区(262件:21%)
 - ・大沢地区(130件:11%)
 - ・塩野室地区(46件:4%)

- 日光地域 : 381件(31%)
- 藤原地域 : 67件(5%)
- 栗山地域 : 24件(2%)
- 足尾地域 : 34件(3%)

※たくさんのご回答ありがとうございました。

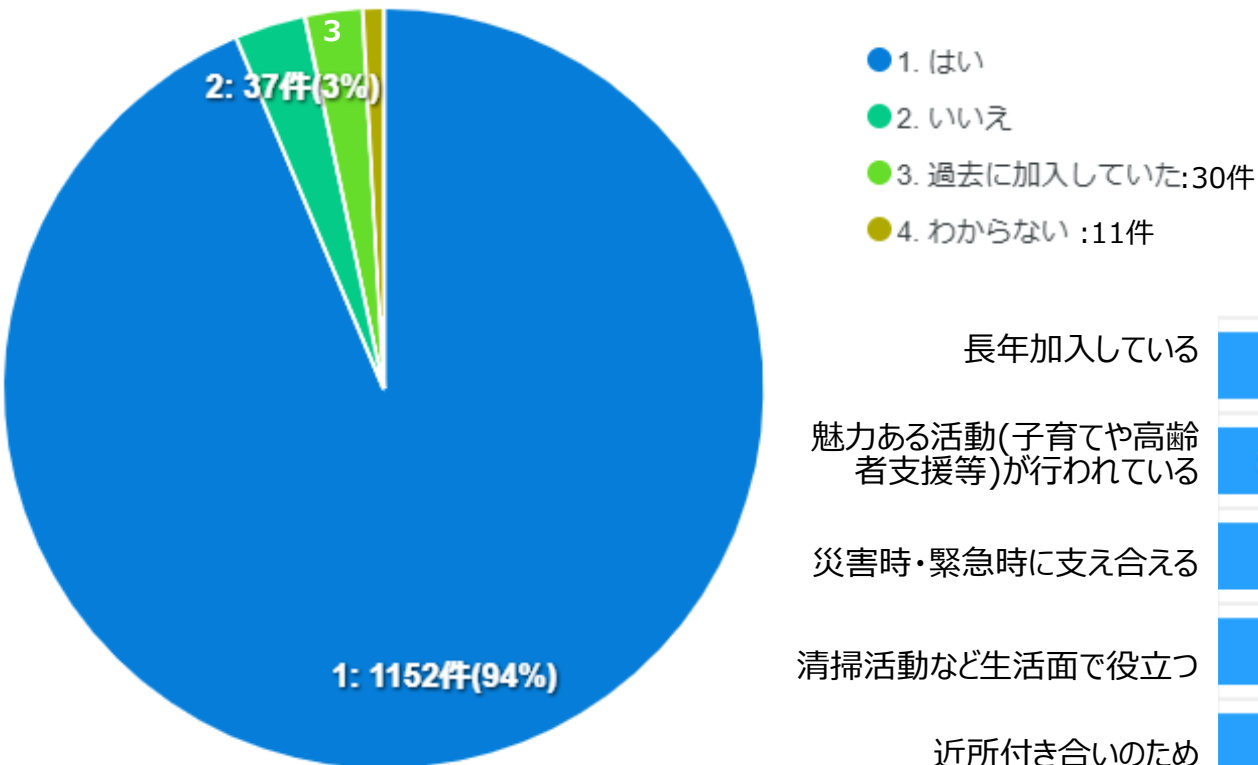
▼あなたのお住いの地域を教えてください▼



「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

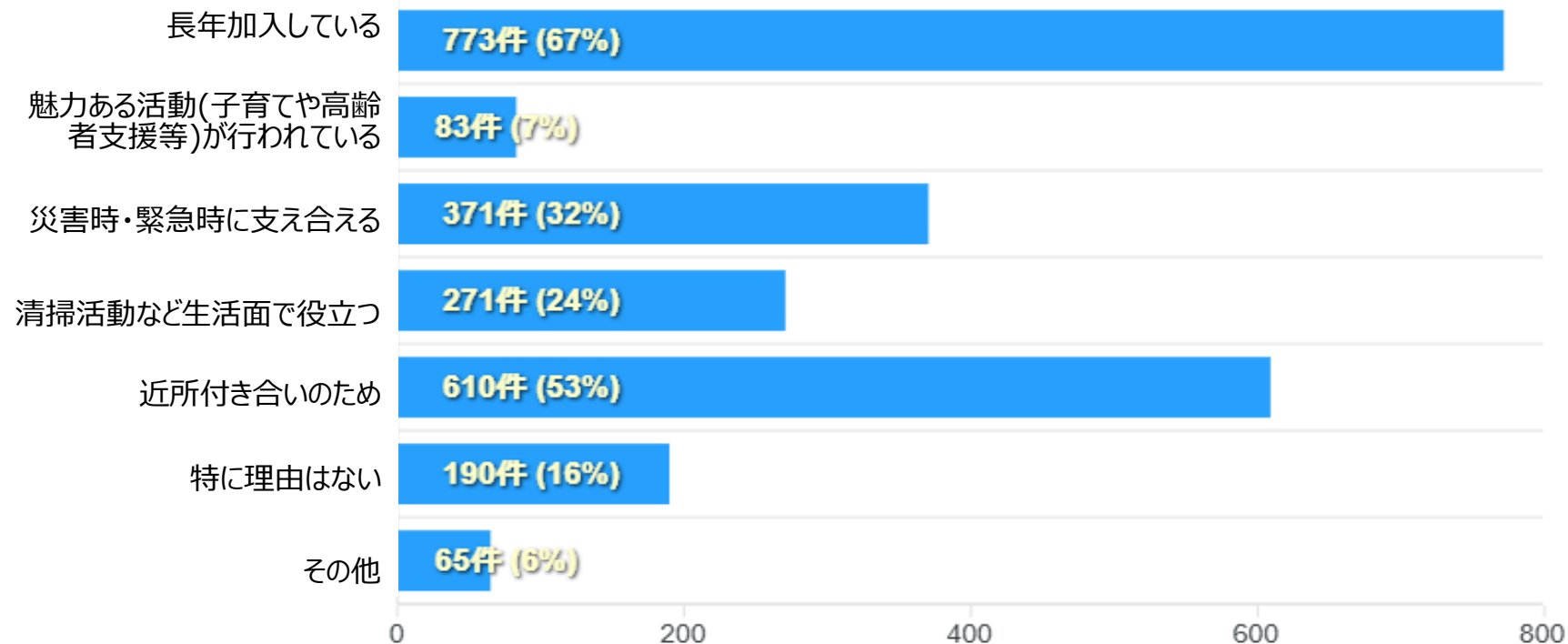
③自治会加入状況について

▼あなたは現在、自治会に加入していますか？▼



▼「はい」と回答した方が 1,152 件

- ・最も多い理由は「長年加入」で 773 件
→つながりや助け合い、自治会加入が習慣化
- ・災害時や緊急時の支えあいに期待する意見も 371 件と多数
- ・魅力ある活動（子育てや高齢者支援等）が行われているため
といった前向きな意見も 83 件あり
- ・その他の意見の大半が、「ゴミステーション利用のため」であった。
→自治会加入 = ゴミステーション使用という認識が多数あり。

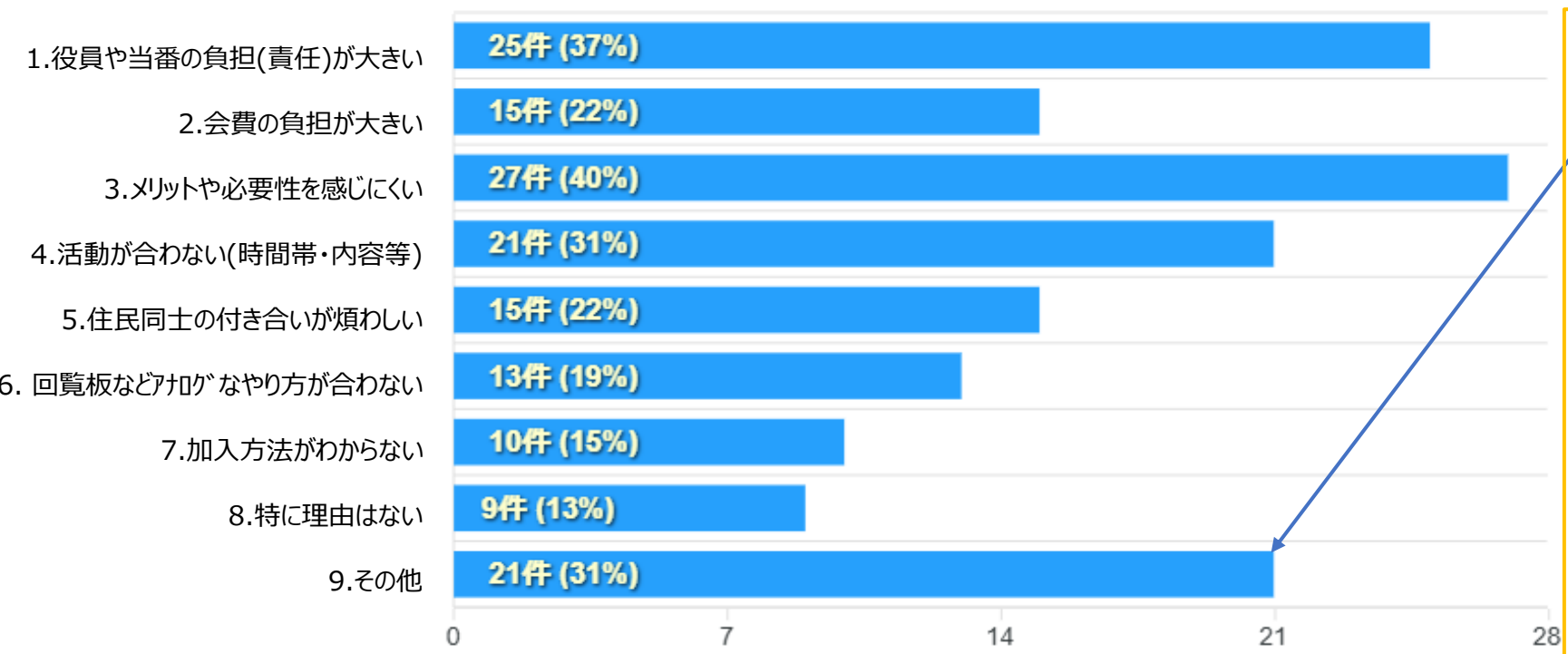


「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

③自治会加入状況について（その2）

▼「いいえ」または「過去に加入していた」回答した方が67件

- ・メリットや必要性を感じにくいといった回答が・・・27件 → 自治会が行っている活動が認知されていない可能性
- ・役員や当番の負担（責任）が大きい・・・25件 → 「心理的&実務的ハードル」+“説明不足”が最大の障壁
- ・活動が合わない(時間帯が合わない)・・・21件 → 習慣となっている事務の簡素化や柔軟な対応が求められる
- ・現金集金等のアナログ体制への不満・・・13件 → DX化（デジタル化）を望む声あり。DX化推進に注力。



▼その他 意見について

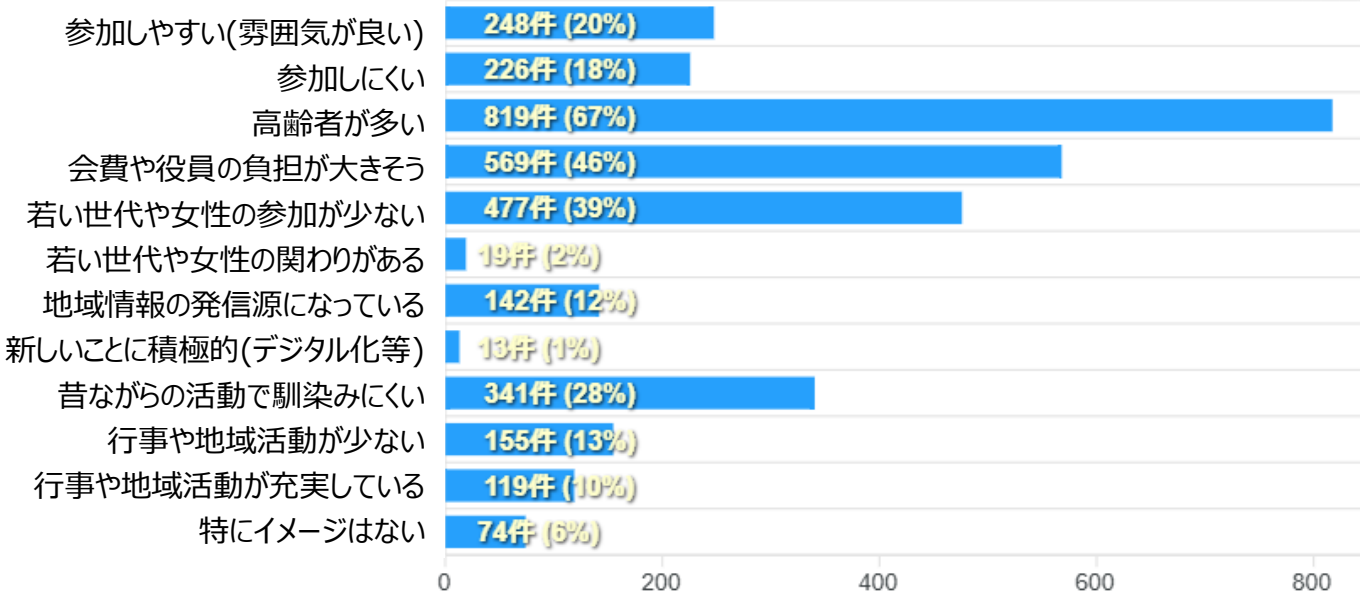
- ・賃貸住宅（アパート等）入居者に対する案内がない等の意見が多数。
- ・地域住民間の認識の違いにより、地域の活動に対する疑問等を相談できない状況にいる方もあり。
- ・役員や班長に対する負担感を感じている方もあり、地域によっては柔軟な対応も必要になる。

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

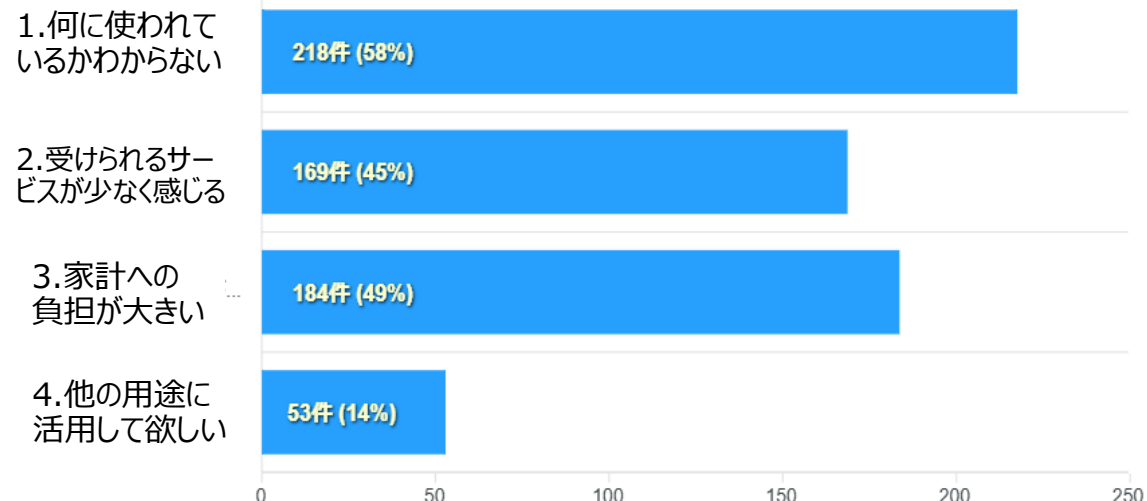
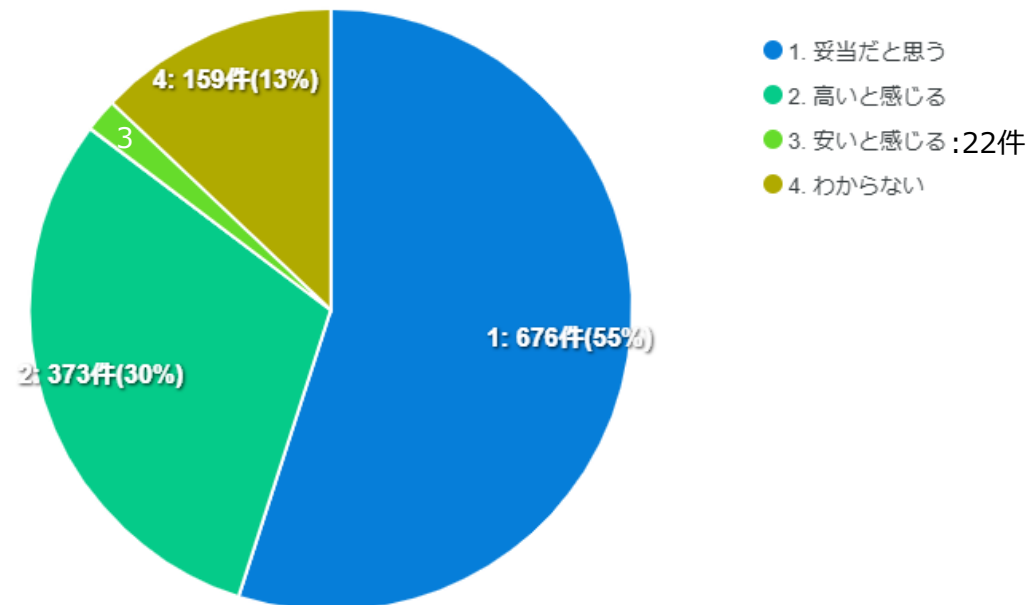
④自治会に関するイメージについて

▼Point

- ・ 活動の固定化、高齢者偏重、負担感などの意見が多い。
- ・ 保守的イメージが、若者や新規住民・未加入層の参画を阻む要因。
→“伝統行事等の維持の障害”
- ・ 若手や新規住民も入りやすい多様な活動内容の展開必要。
- ・ 情報発信力の向上、運営広報の強化必須。
- ・ 先進自治会の好事例や柔軟な新しい活動、参加体験の発信が必要。
- ・ “昔ながら”を守りつつも今どき世帯のニーズに沿った活動が必要。



▼自治会費の金額や使い道についてどう感じますか。▼

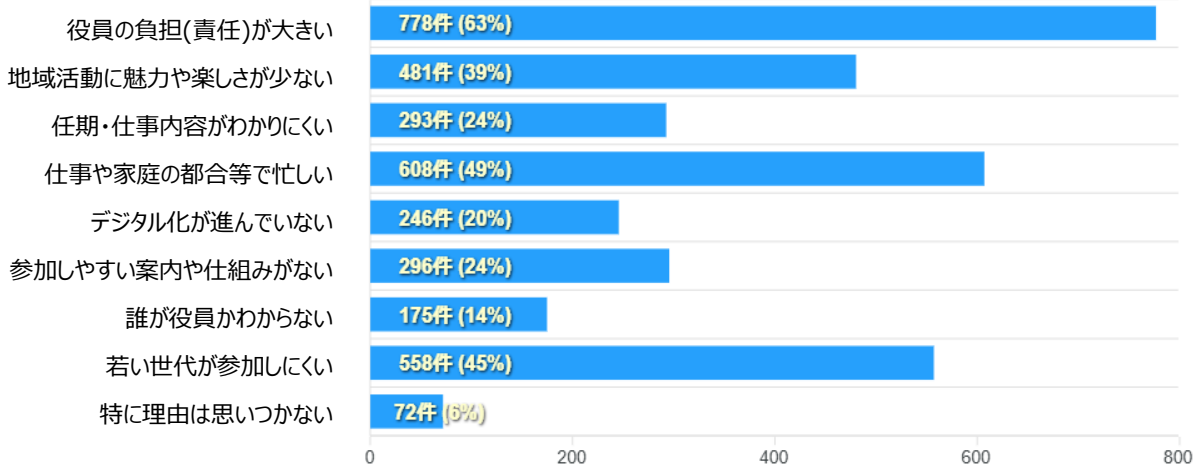
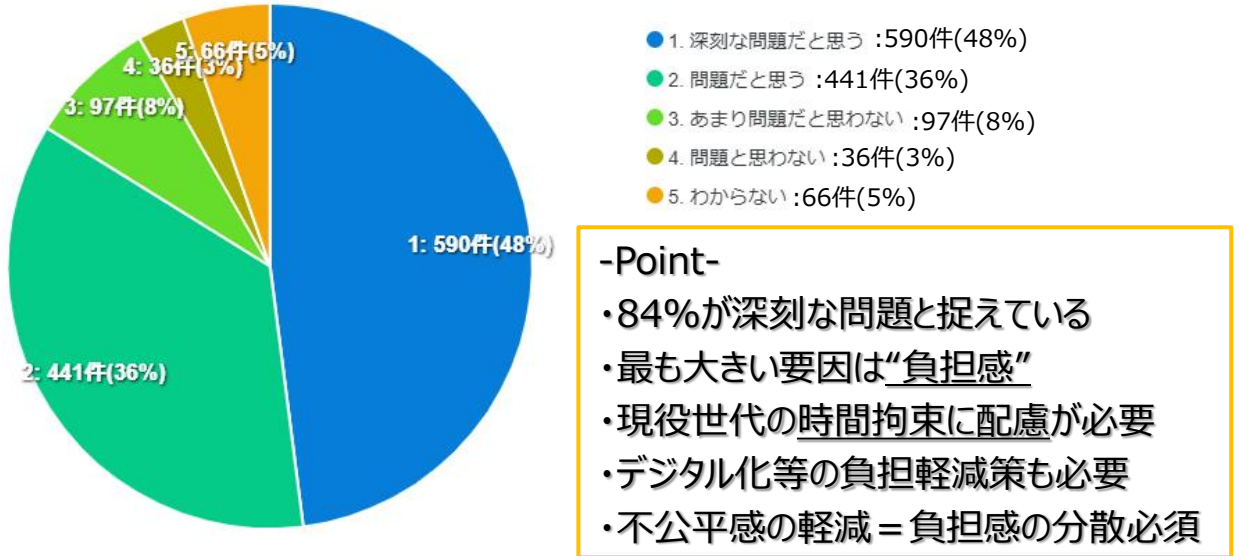


「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

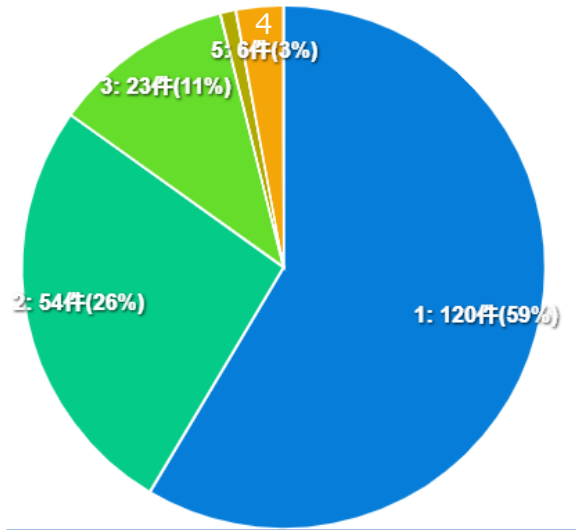
⑤自治会が抱える課題・問題について（担い手不足等）

自治会長アンケートの結果から（抜粋）

▼役員の高齢化や、担い手不足・加入率の低下等の課題についてどのように感じますか▼



▼役員の高齢化が課題だと思う▼

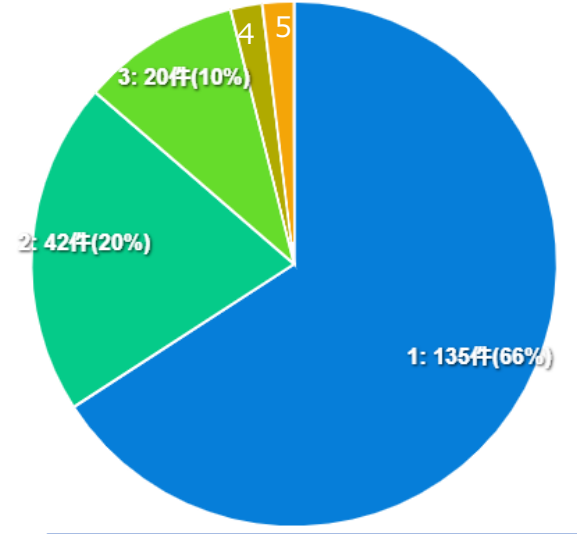


- 1. そう思う:120件(59%)
- 2. どちらかというと思う:54件(26%)
- 3. どちらともいえない:23件(11%)
- 4. どちらかというと思わない:2件(1%)
- 5. そう思わない:6件(3%)

-Point-

- ・自治会長アンケートでも“高齢化と担い手不足”が最大の経営リスク。
- ・現役世代・新住民の参加ハードル克服が必要。
- ・役員の数増や任期短縮により、負担が分散。
- ・役員育成研修や報酬導入など、新規担い手への門戸拡大。

▼役員のなり手不足が課題だと思う▼



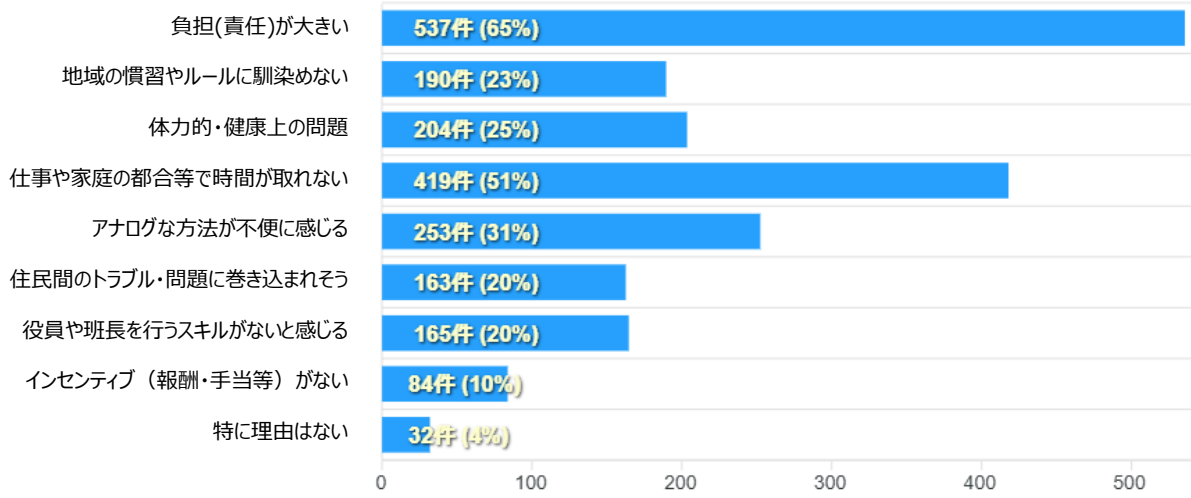
- 1. そう思う:135件(66%)
- 2. どちらかというと思う:42件(20%)
- 3. どちらともいえない:20件(10%)
- 4. どちらかというと思わない:4件(2%)
- 5. そう思わない:4件(2%)

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

⑥自治会が抱える課題・問題について（役員負担感等）

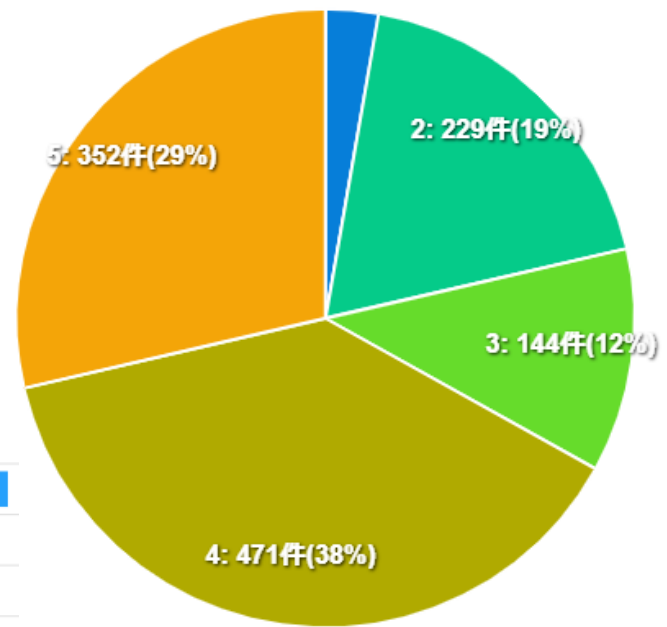
-Point-

- ・役員をできればやりたくない/やりたくない:832件 = 約7割が消極的意識。
- ・負担理由は「責任の大きさ:537件」,「仕事・家庭との両立難:419件」,「アナログ作業不便:253件」,「慣習的・曖昧な役割割り当て」等も多い。
- ・自治会長アンケートも負担集中・辞めたくても辞められない等の声が多い。
- ・「輪番制」「兼務」「辞めたくても辞めづらい」等、制度自体が現代生活と合致していない現状。
- ・複数役員制や役割分担の徹底、任期制限を設ける等の配慮必要
- ・DX(デジタル化)による事務・連絡の負担軽減への取り組み
- ・フォロー体制の拡充。



市民向け自治会アンケート結果から(抜粋)

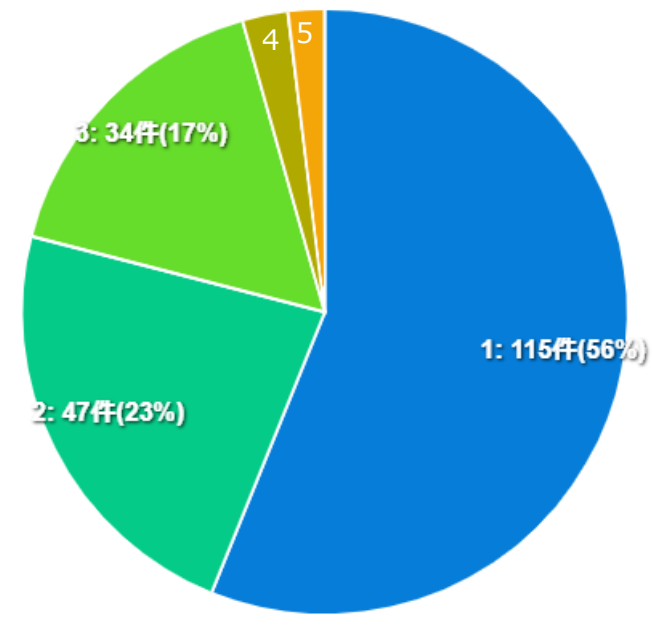
▼役員や当番・班長などをやってみたいか▼



1.積極的にやりたい:34件(2%)
 2.勧められればやる:229件(19%)
 3.条件次第でやる:144件(12%)
 4.できればやりたくない:471件(38%)
 5.やりたくない:352件(29%)

自治会長アンケートの結果から(抜粋)

▼特定の人の負担が大きいことが課題だと思う▼



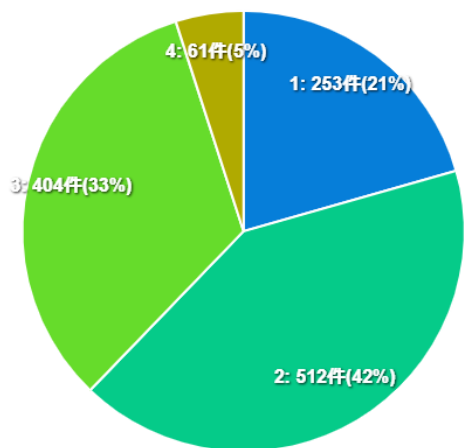
1.そう思う:115件(56%)
 2.どちらかというと思う:47件(23%)
 3.どちらともいえない:34件(17%)
 4.どちらかというと思わない:5件(2%)
 5.そう思わない:4件(2%)

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

⑦自治会が抱える課題・問題について（若者・女性登用）

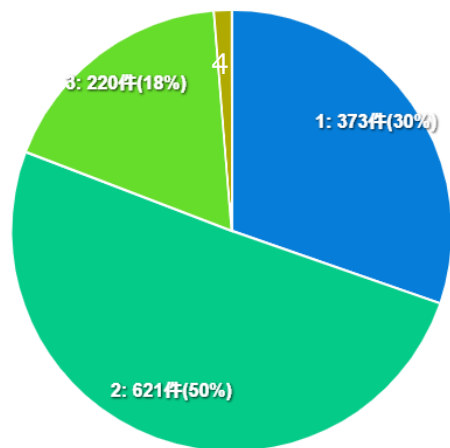
市民向け自治会アンケート結果から(抜粋)

▼自治会の役員の若者登用について▼



1. 積極的に進めてほしい: 253件(21%)
2. 賛成: 512件(42%)
3. どちらともいえない: 404件(33%)
4. 反対: 61件(5%)

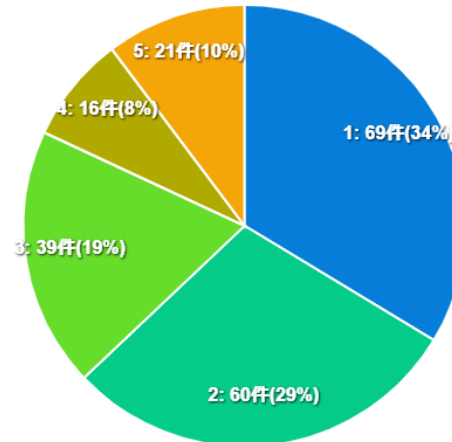
▼自治会役員の女性登用について▼



1. 積極的に進めてほしい: 373件(30%)
2. 賛成: 621件(50%)
3. どちらともいえない: 220件(18%)
4. 反対: 16件(2%)

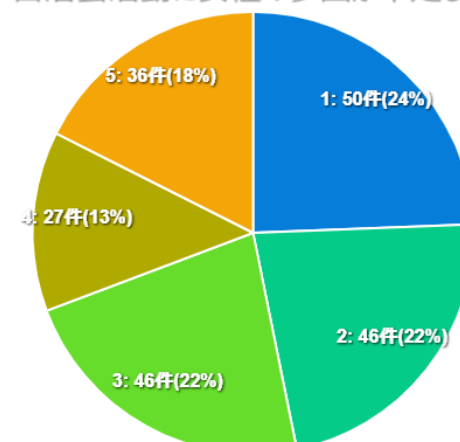
自治会長アンケートの結果から(抜粋)

▼自治会活動に若い世代の参画が不足している▼



1. そう思う: 69件(34%)
2. どちらかというと思う: 60件(29%)
3. どちらともいえない: 39件(19%)
4. どちらかというと思わない: 16件(8%)
5. そう思わない: 21件(10%)

▼自治会活動に女性の参画が不足している▼



1. そう思う: 50件(24%)
2. どちらかというと思う: 46件(22%)
3. どちらともいえない: 46件(22%)
4. どちらかというと思わない: 27件(13%)
5. そう思わない: 36件(18%)

-Point-

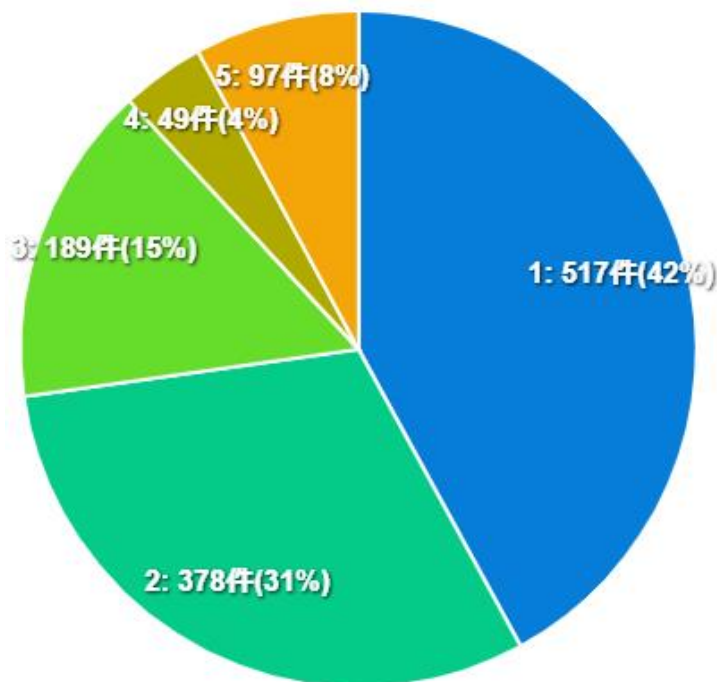
- ・若者役員登用「積極的に進めてほしい」「賛成」で765件（63%）、女性役員登用でも994件（80%）が肯定的。
- ・自由記述でも『若い世代や新住民が参加しやすくなる改革』『女性登用を進めて組織の新陳代謝を図る』などの意見が多い。
- ・自治会長アンケート側でも「若手不足」「女性登用に消極的」の傾向＝若者や女性を登用しやすい仕組みが必要。
- ・制度と意識の“壁”が参画を阻害。現場での旧来慣習や人選方法の硬直化が長年解決されていない。
- ・若者も女性も役員登用しやすい基準、推薦、リーダー研修、多様な家庭事情に即した運営時間・役割分担の見直しが必須。

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

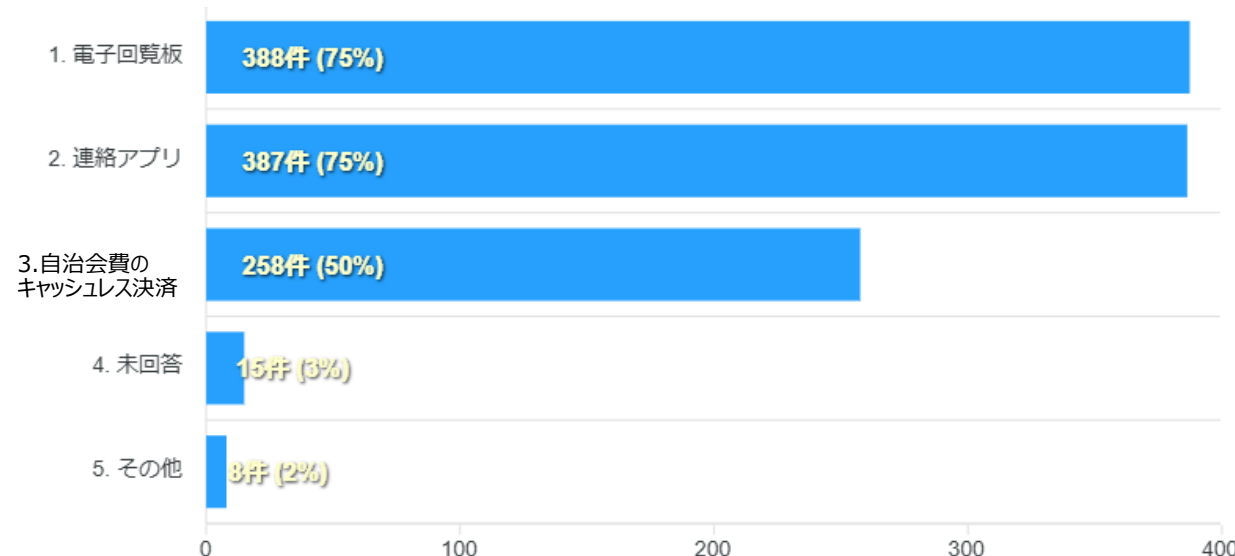
⑧自治会運営とDX化（デジタルツール）について

市民向け自治会アンケート結果から(抜粋)

▼自治会の活動や運営にDX(デジタルツールの導入等)が必要だと思いますか？必要と思うデジタルツールはなんですか？▼



- 1. 必要だと思う: 517件(42%)
- 2. やや必要だと思う: 378件(31%)
- 3. あまり必要だと思わない: 189件(15%)
- 4. 必要だと思わない: 49件(4%)
- 5. わからない: 97件(8%)



-Point-

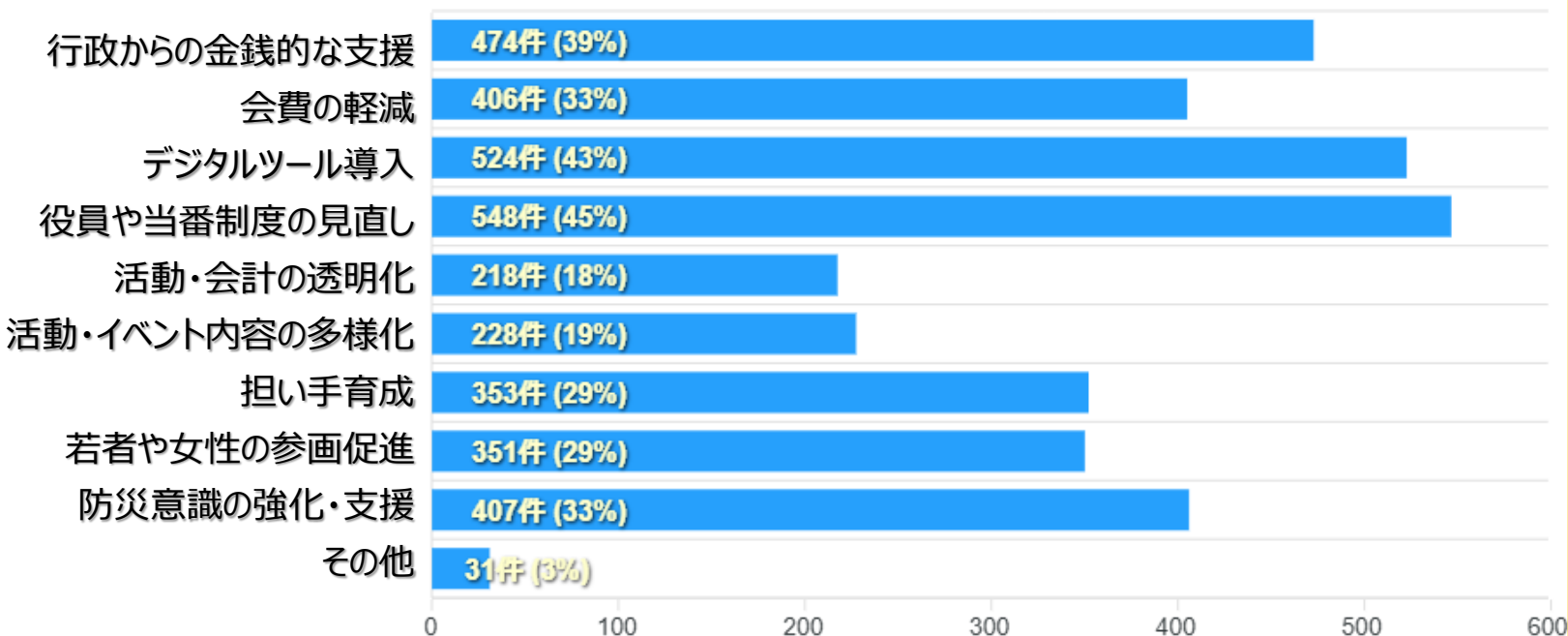
- ・回答者の73%が「必要/やや必要」と回答、電子回覧板388件、連絡アプリ387件、キャッシュレス決済258件など具体的要望あり。
- ・一方で「高齢層・現役役員はアナログ手法も重要」「ハイブリッド運用希望」など年代差や環境差も大きい。
- ・自治会長アンケートでも、「デジタル化に消極的」層が根強く、現役役員ではアナログとの共存意識も顕著。
- ・DX化による情報格差の防止、紙＋デジタルの共存、デジタル講習会や体験会

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

⑨自治会活動に対する支援について

市民向け自治会アンケート結果から(抜粋)

▼自治会活動について、どのような仕組みや支援、取組みがあるとよいと思いますか。▼



-Point-

- ・「制度・費用負担の軽減」「役員・当番制度の見直し」「DX化」など、「運営のハードルをどう下げるか」に強いニーズ。
- ・「デジタルツール導入」は支援策トップ、電子回覧板やLINE等ニーズ高い。
- ・「金銭的支援」「会費軽減」も4割近く、家計圧迫を防ぐ仕組みや助成制度に期待が集まっている。
- ・「活動や会計の透明化」「イベント・活動の多様化」「若年・女性の参画促進」など“公平性”と“多様な参加”“個々の生活スタイルへの配慮”にも目が向く。
- ・「担い手育成や防災強化」など基礎機能の底上げ。
- ・「負担や参加の壁（金銭・役割・情報・仕組み）のいずれかですまずき、結果として『入れない』または『やりたくない』層が厚くなっている。」

※注目は同様の設問で「多様化」「透明化」「担い手育成」「イベント時間帯や内容」等細かな生活スタイル・価値観に対応する支援が求められている。

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

⑩自治会活動に対する意見等（その1）

市民向け自治会アンケート結果から(抜粋)

▼自治会についてご意見・ご要望・ご不満や改善してほしいこと▼（計361件）

【内容・種類別意見の分類】

No	分類	内容	件数	分類詳細
1	A	会費・財政・金銭負担	57	A（会費・財政・金銭負担）：「会費が高い」「使途不明」「説明責任」「補助金」「メリットなし」等
2	B	役員・当番・担い手不足と負担	75	B（役員・当番・担い手不足と負担）：役員の長期、なり手不足、負担、辞めにくさ、任期
3	C	DX化・アナログ体制不満	49	C（DX化・アナログ体制への不満・デジタル化希望）：回覧板・集金・アナログ体制、デジタル化要望
4	D	行事・イベント・伝統見直し	64	D（行事・イベント・伝統慣習の見直し）：強制参加、寄付、行事・お祭り・防災・伝統の見直し
5	E	ゴミステーション問題	41	E（ゴミステーション・管理・未加入世帯問題）：ゴミ関連、未加入者、利用問題、負担
6	F	新住民・若年・多様性	134	F（新住民・若年層・多様性・参加しやすさ支援の声）：新住民・若者・女性・賃貸・参加しやすさ
7	G	高齢化・人口減・合併・再編	99	G（高齢化・人口減少・合併・組織再編）：高齢化・過疎・合併・組織再編要望
8	H	自治会不要・抜きたいなど	58	H（自治会不要・抜きたい・メリットなし）：「不要」や「抜きたい」「メリットなし」「活動見直し」
9	I	行政への期待	22	I（行政への要望・介入期待）：行政リード・補助・サポート要望
10	J	透明化・説明責任・公平性	54	J（透明化・説明責任・住民間の公平性）：会計・活動・意思決定の透明化、意見が通らない問題
11	K	その他	57	K（その他）：災害・防災・孤立防止・生活インフラ・外国人対応・成功事例・感謝など

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

⑩自治会活動に対する意見等（その2）

市民向け自治会アンケート結果から(抜粋)

▼自治会についてご意見・ご要望・ご不満や改善してほしいこと▼（計361件）

【内容・種類別意見のタイプ】

大きく分けて2つに分類（◆肯定意見と否定・不滿意見◆要望と提案）

▼以下、主な意見（抜粋）

【70代以上・今市地区・みんな高齢者で活動が難しい（No.8）】

【60代・豊岡地区・長期役員が多く、次世代育成が課題（No.6）】

【40代・今市地区・自治会と組や育成会の線引きが不明、金銭負担が大きくメリット感じない（No.20）】

【50代・大沢地区・役員成り手不足、行事参加者減少（No.41）】

【70代・藤原地域・役員高齢化や行事見直し、継承向け若い世代の参画体制と費用使途検討（No.244）】

【60代・藤原地域・人口減少で班割など再検討必要、街灯電気代で会費不足、行政支援欲しい（No.156）】

【40代・今市地区・回覧板がアナログで高齢の分区長は大変、自治会費上げて配布の外注検討も必要（No.150）】

【50代・落合地区・一度役員やると抜けづらい、集金・配布などアナログで負担、デジタル化歓迎（No.253）】

【60代・豊岡地区・現体制では活動続行無理、行政対応希望（No.128）】

【50代・今市地区・強制や圧力は今の時代に合わない、若者の脱退が多く迅速な対応を望む（No.99）】

No	意見タイプ	件数
1	肯定的	16
2	否定的	50
3	要望・提案	291
4	不明・中立	4



市民向け「自治会活動に関するアンケート」 分析結果（まとめ）

「自治会活動に関する市民アンケート」分析結果

今回のアンケートでは、**「わかりやすい運営」「公平な負担」「多様な価値観の受容」「行政によるサポート」**など、具体的な改革ニーズが多数寄せられました。

その結果、**「市民と自治会長双方が感じている課題」**（役員・班長等の負担、会費や運営の透明性、アナログ体制の不便さ、高齢化や担い手不足、多様な世代・価値観への対応など）は、**ほぼ一致**していることが明らかとなりました。

自治会活動は、地域の連帯や防災、人と人とのつながりを支えてきましたが、時代の変化とともに運営の負担や**「参加のハードルが高くなっていること」**が浮き彫りとなっています。

今後は、市と自治会連合会が協働・連携し、**「自治会の魅力や参加メリットを発信」**するとともに、若者や新住民、女性も参加しやすい多様な運営体制づくりや、**「デジタル化の推進」**など、時代に合った地域運営を共に模索していきます。

今後も、市と自治会連合会は、地域の声を受け止めながら、できることから取り組みを進め、住民一人ひとりが**「安心して参加できる活力ある地域コミュニティの維持・発展」**に努めてまいります。